近世道状遺構の集成（４）

近世研究プロジェクトチーム

はじめに

本プロジェクトチームでは、昨年度より近世道状遺構の集成を行っている。

県内の遺跡で発見され、報告されている近世の道状遺構のデータを集成し、規模や構築方法等について検討していく予定である。今回は横浜市に所在する長津田遺跡群住撰遺跡・宮之前遺跡・宮之前南遺跡、南原遺跡、原宿町遺跡・原宿五丁目遺跡第Ｉ地点、馬場綿内谷遺跡を取り上げる。

凡　例

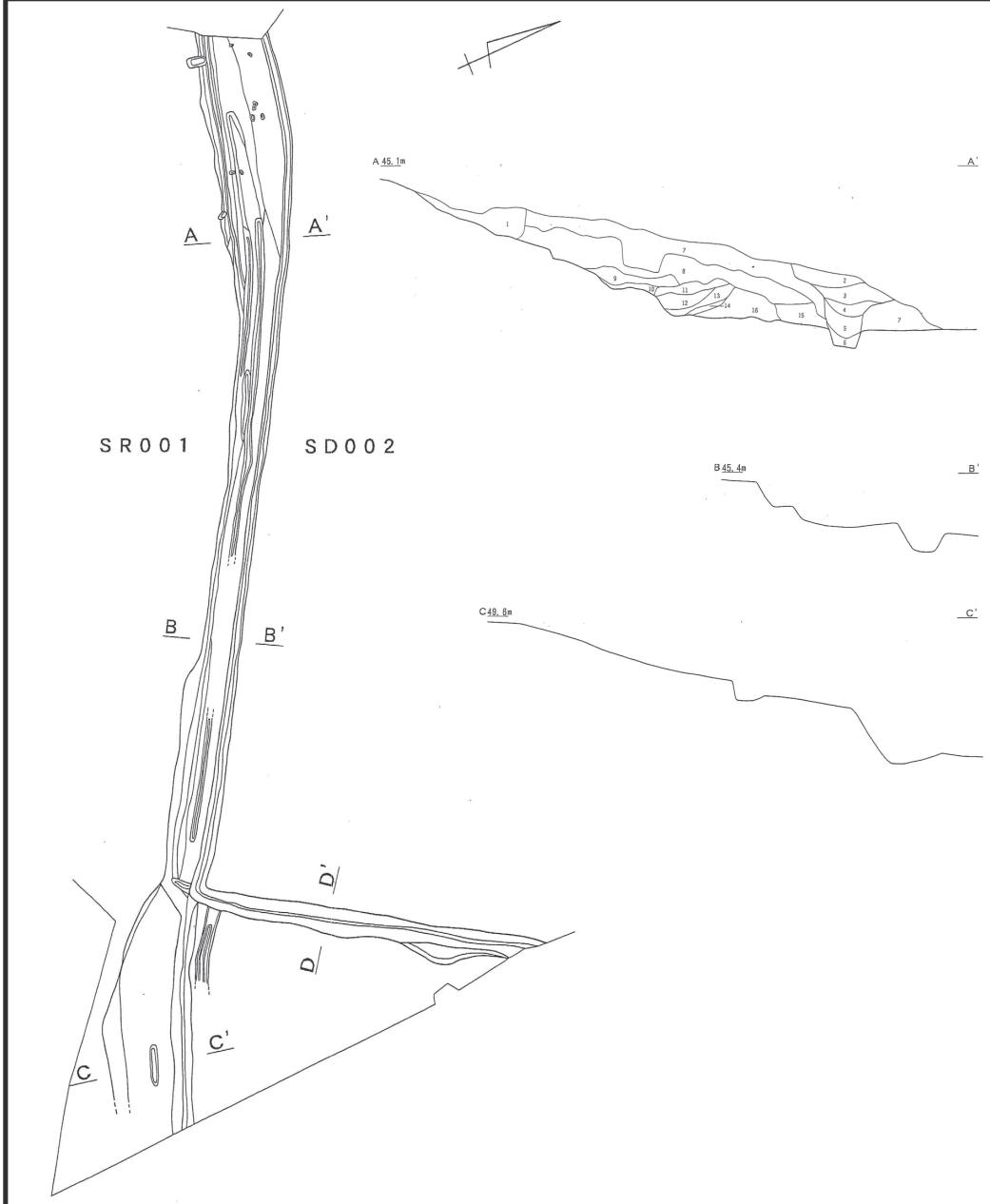
・遺構名は報告書の記載に基づく。

・縮尺は平面図がスペースに収まるような大きさに適宜変えているため、図ごとに示した。

・断面図は報告書に複数記載されている例もあるが、一部を記載することにした。

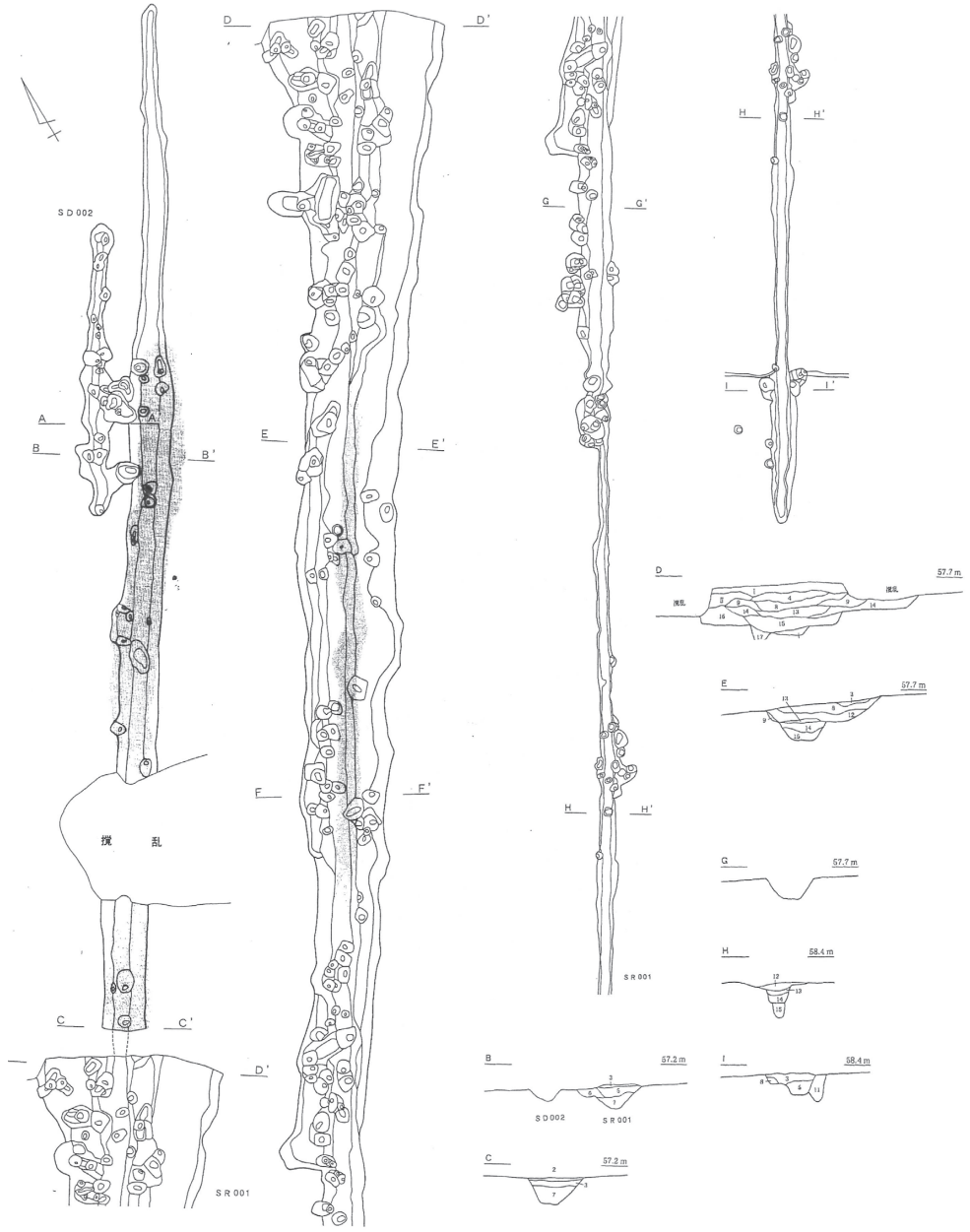
資料№.	遺跡名	遺構名	文献名
60	長津田遺跡群住撰遺跡	ＳＲ００１	1996年 『長津田遺跡群Ⅱ　住撰遺跡』 かながわ考古学財団調査報告12
61	長津田遺跡群宮之前遺跡	ＳＲ００１	1999年 『長津田遺跡群Ⅴ　宮之前遺跡』 かながわ考古学財団調査報告58
62	長津田遺跡群宮之前南遺跡	ＳＲ００１	1998年 『長津田遺跡群Ⅳ　宮之前南遺跡』 かながわ考古学財団調査報告37
63	長津田遺跡群宮之前南遺跡	ＳＲ００２	1998年 『長津田遺跡群Ⅳ　宮之前南遺跡』 かながわ考古学財団調査報告37
64	長津田遺跡群宮之前南遺跡	ＳＲ００３	1998年 『長津田遺跡群Ⅳ　宮之前南遺跡』 かながわ考古学財団調査報告37
65	長津田遺跡群宮之前南遺跡	ＳＲ００４	1998年 『長津田遺跡群Ⅳ　宮之前南遺跡』 かながわ考古学財団調査報告37
66	南原遺跡	道状遺構	2002年 『南原遺跡』 かながわ考古学財団調査報告129
67	原宿町遺跡	１号道状遺構	2009年 『原宿町遺跡・原宿五丁目遺跡第Ｉ地点』 かながわ考古学財団調査報告238
68	原宿町遺跡	２号道状遺構	2009年 『原宿町遺跡・原宿五丁目遺跡第Ｉ地点』 かながわ考古学財団調査報告238
69	原宿五丁目遺跡第Ｉ地点	Ｋ１号道状遺構	2009年 『原宿町遺跡・原宿五丁目遺跡第Ｉ地点』 かながわ考古学財団調査報告238
70	馬場綿内谷遺跡	Ｋ１号道状遺構	2013年 『馬場綿内谷遺跡』 かながわ考古学財団調査報告295
71	馬場綿内谷遺跡	Ｋ２号道状遺構	2013年 『馬場綿内谷遺跡』 かながわ考古学財団調査報告295
72	馬場綿内谷遺跡	Ｋ１～10号硬化面	2013年 『馬場綿内谷遺跡』 かながわ考古学財団調査報告295

資料No.	60	遺跡名	長津田遺跡群住撰遺跡
所在地	横浜市緑区長津田町		
遺構名	ＳＲ００１		
道　幅	0.4～0.5m		
年　代	宝永火山灰噴火前後に使用		
備　考	溝状に掘り込まれた道、検出長65m、東西両端とも調査区外に延びる、4層の硬化面、 北側に平行する溝状遺構（ＳＤ００２）があるが溝よりも古い		



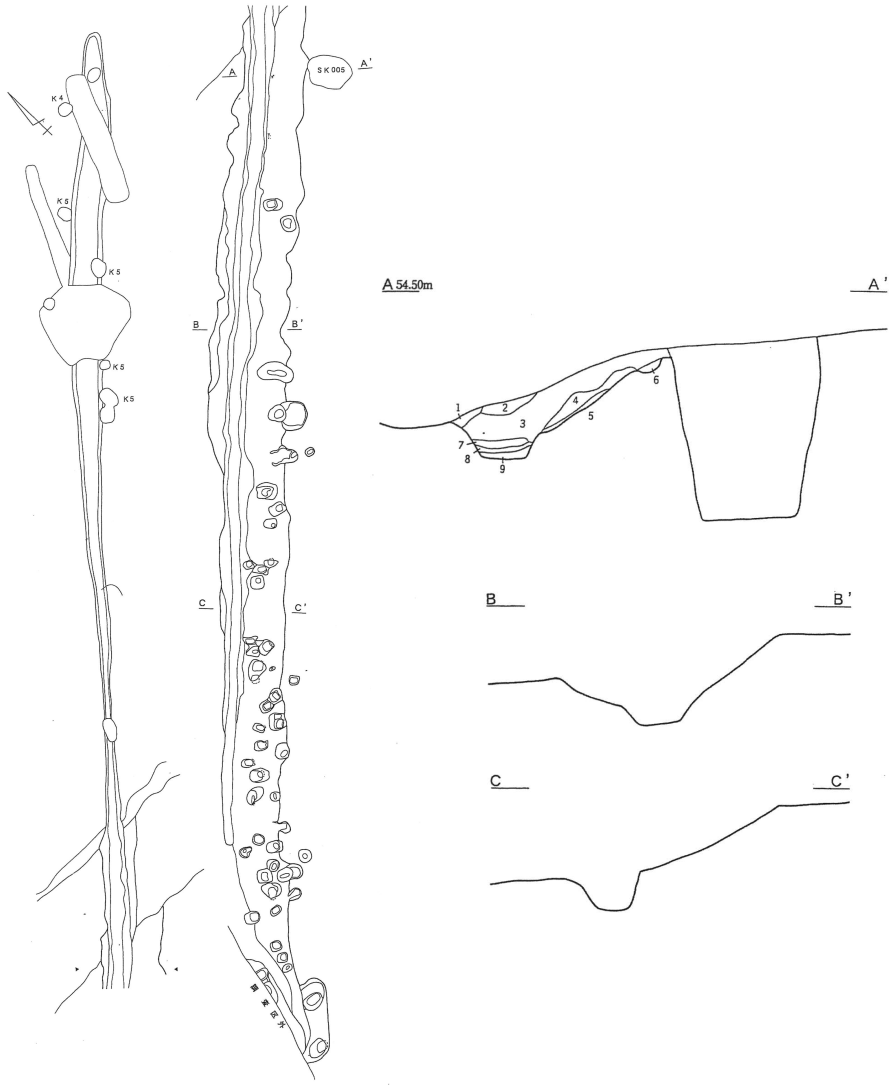
縮　尺	（平面図）1/500　（断面図）1/100

資料No.	61	遺跡名	長津田遺跡群宮之前遺跡
所在地	横浜市緑区長津田町		
遺構名	ＳＲ００１		
道　幅	1.34m		
年　代	宝永火山灰噴火前から使用		
備　考	検出長100.76m、硬化面厚さ8～24cm、溝底から立ち上がりにかけての部位にピットが認められる		



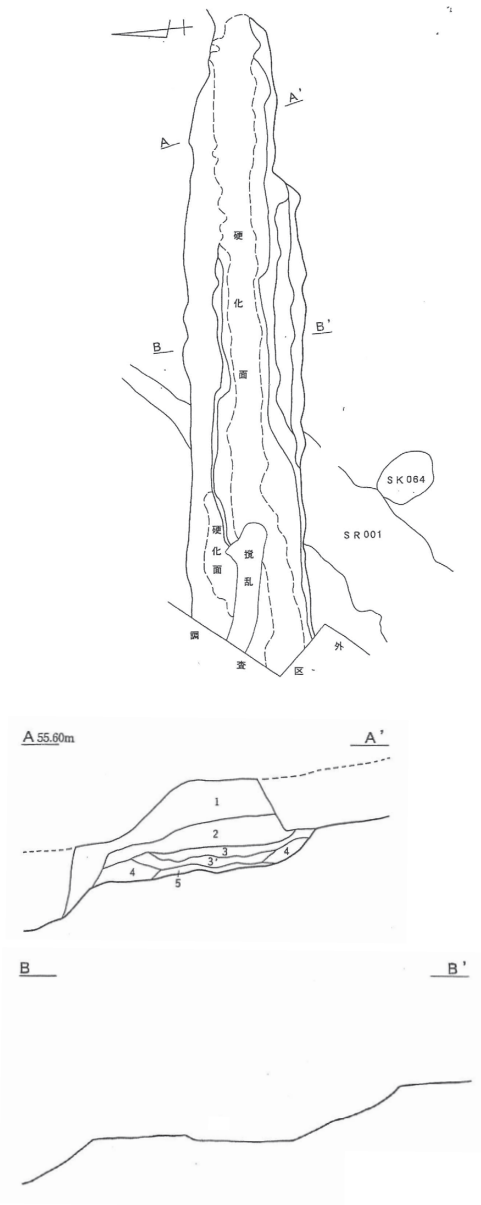
縮　尺	（平面図）1/200　（断面図）1/200

資料No.	62	遺跡名	長津田遺跡群宮之前南遺跡
所在地	横浜市緑区長津田町		
遺構名	ＳＲ００１		
道　幅	0.2～0.6m		
年　代			
備　考	溝状に掘り込まれた道、検出長54.2m、一端は調査区外に延びる、南西側に小ピット多数あり、ＳＲ００２に切られる		



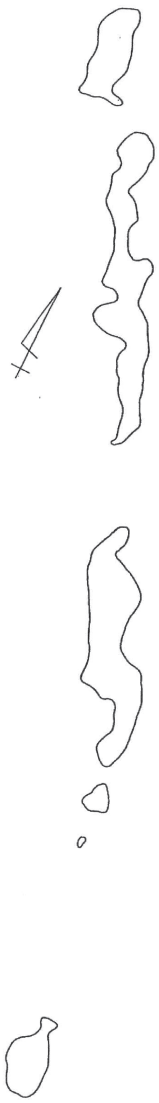
縮　尺	（平面図）1/200　（断面図）　1/60

資料No.	63	遺跡名	長津田遺跡群 宮之前南遺跡
所在地	横浜市緑区長津田町		
遺構名	ＳＲ００２		
道　幅	0.7～1.6m		
年　代			
備　考	検出長13.8m、西端は調査区外に延びる、硬化面厚さ20cm、ＳＲ００１を切る		



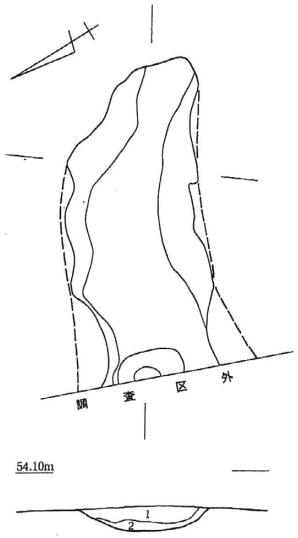
縮　尺	（平面図） 1/150　（断面図） 1/60

資料No.	64	遺跡名	長津田遺跡群 宮之前南遺跡
所在地	横浜市緑区長津田町		
遺　名	ＳＲ００３		
道　幅	最大で0.45m		
年　代			
備　考	検出長9.1m、2号段切りの段テラスにあり		



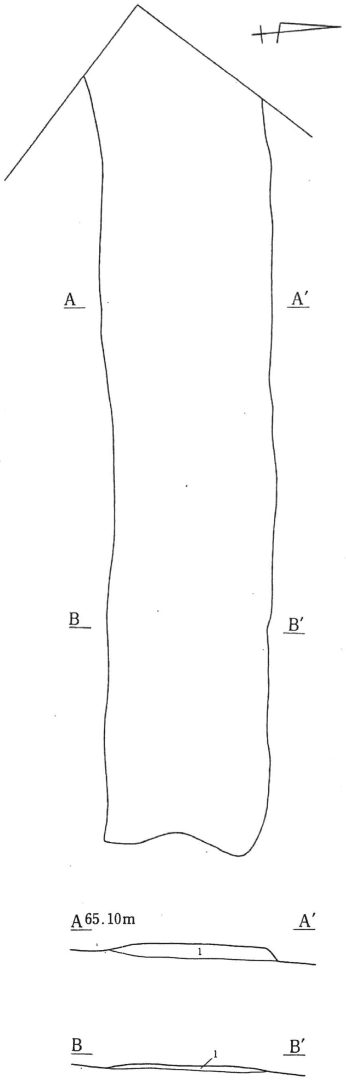
縮　尺	（平面図） 1/60

資料No.	65	遺跡名	長津田遺跡群 宮之前南遺跡
所在地	横浜市緑区長津田町		
遺構名	ＳＲ００４		
道　幅	0.9m		
年　代			
備　考	検出長2.5m、端部のみ検出、西端は 調査区外へ延びる		



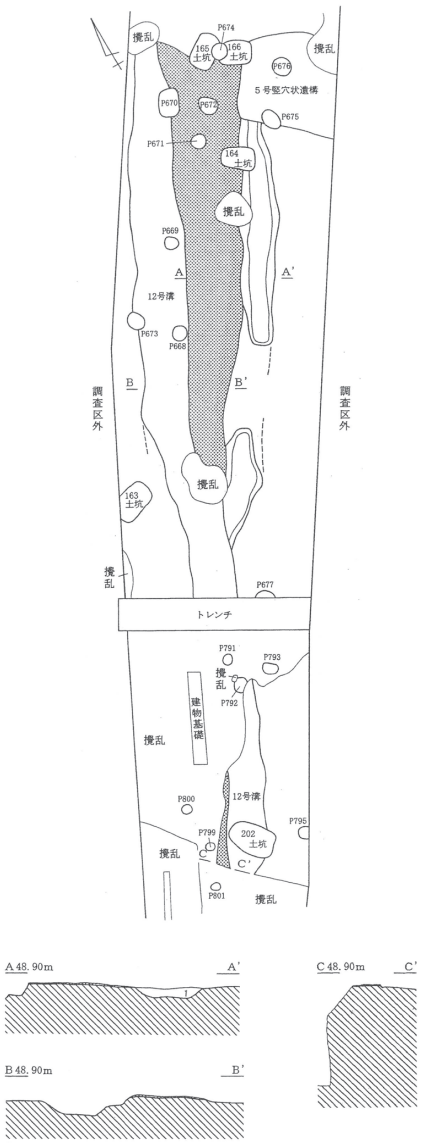
縮　尺	（平面図） 1/60　（断面図） 1/60

資料No.	66	遺跡名	南原遺跡
所在地	横浜市保土ケ谷区川島町		
遺　名	道状遺構		
道　幅	2.65m		
年　代	宝永山噴火以降に構築		
備　考	検出長14.3m、硬化面厚さ3～10cm		



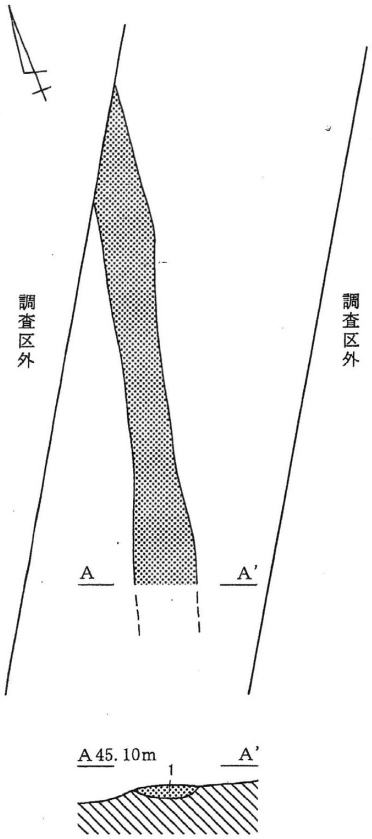
縮　尺	（平面図） 1/100　（断面図） 1/100

資料No.	67	遺跡名	原宿町遺跡
所在地	横浜市戸塚区原宿町		
遺構名	1号道状遺構		
道　幅	1.9～2.2m		
年　代	宝永噴火以前に廃絶		
備　考	検出長22m、硬化面厚さ3cm、幅1m・深さ0.1mの側溝を伴う、宝永スコリアで埋まった溝に切られる		



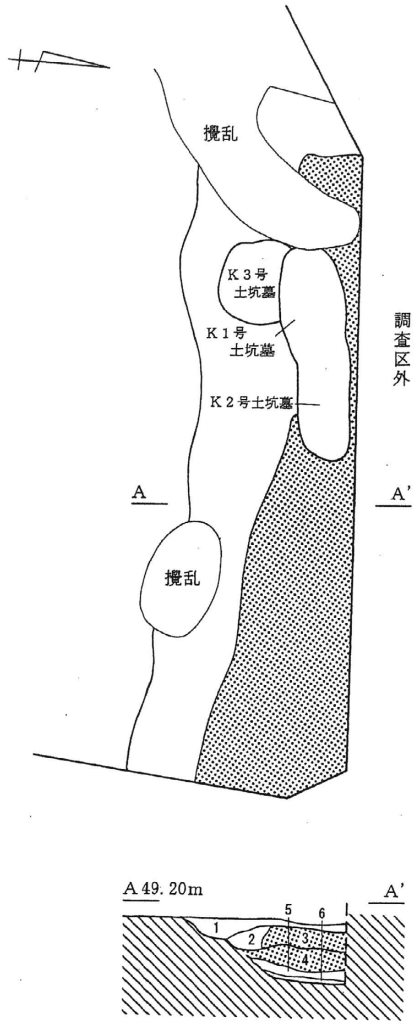
縮　尺	（平面図） 1/200　（断面図） 1/100

資料No.	68	遺跡名	原宿町遺跡
所在地	横浜市戸塚区原宿町		
遺　名	2号道状遺構		
道　幅	0.55m		
年　代			
備　考	検出長4m、北側は調査区外にも延びている、硬化面厚さ10cm		



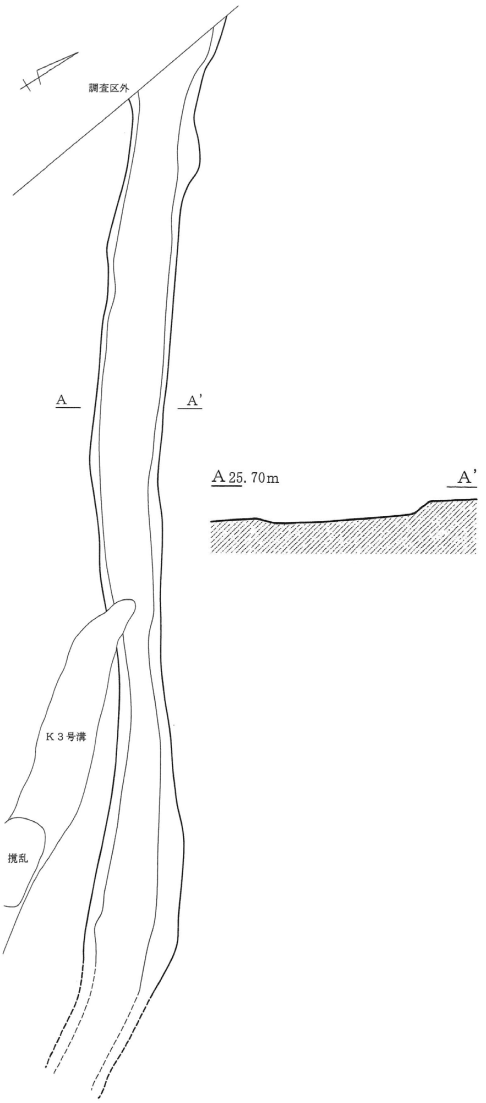
縮　尺	（平面図） 1/60　（断面図） 1/60

資料No.	69	遺跡名	原宿五丁目遺跡第Ⅰ地点
所在地	横浜市戸塚区原宿町		
遺構名	Ｋ１号道状遺構		
道　幅	0.9m以上		
年　代	宝永噴火直後まで使用		
備　考	溝状に掘り込まれた道、検出長5.3m、一部のみ検出、硬化面2面、硬化面厚さ15～20cm、硬化面最上部に宝永火山灰が堆積		



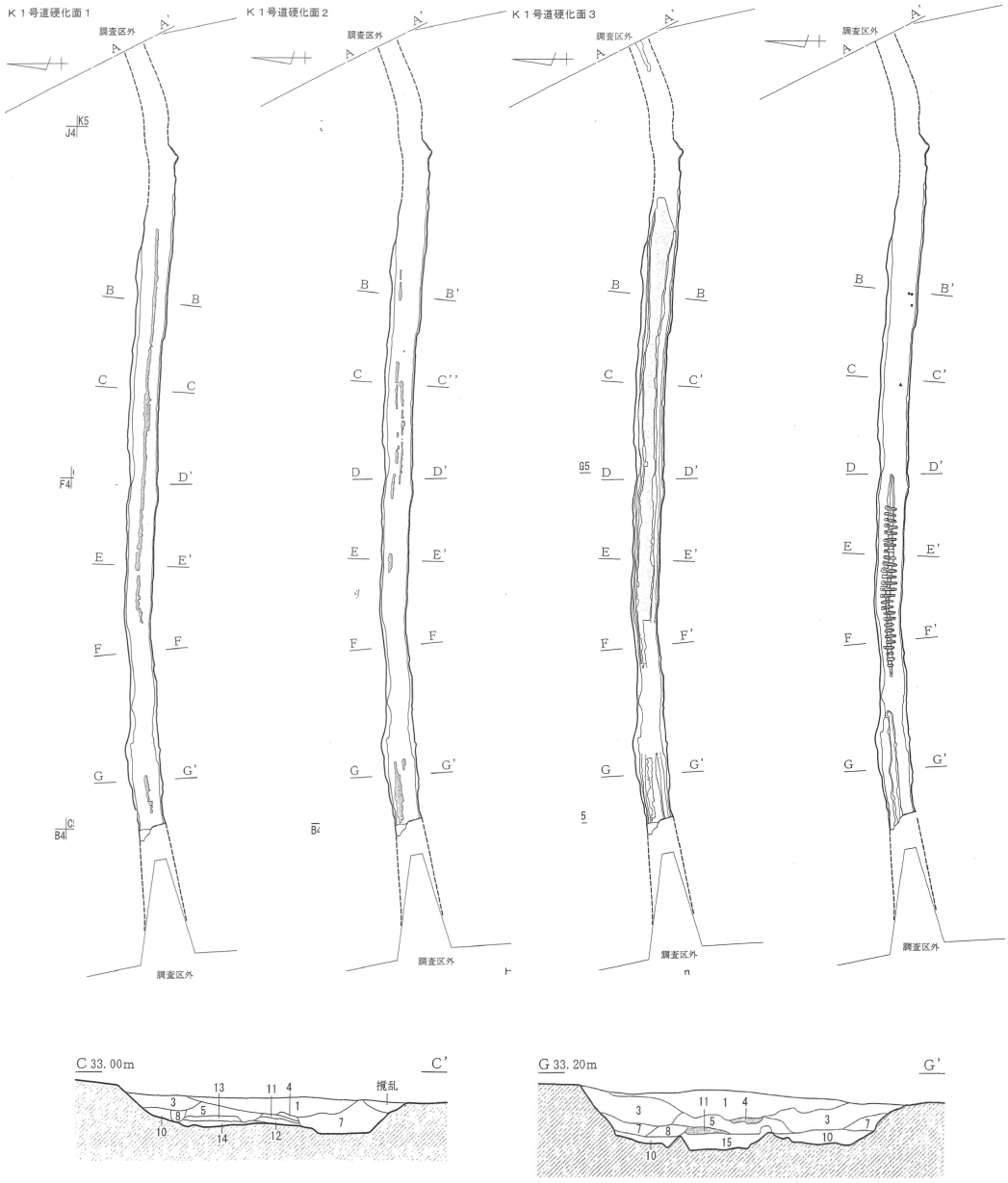
縮　尺	（平面図） 1/60　（断面図） 1/60

資料No.	70	遺跡名	馬場綿内谷遺跡
所在地	横浜市鶴見区馬場		
遺　名	Ｋ２号道状遺構		
道　幅	1.9m前後		
年　代			
備　考	Ｕ字状に掘り込まれた溝、検出長20.2m		



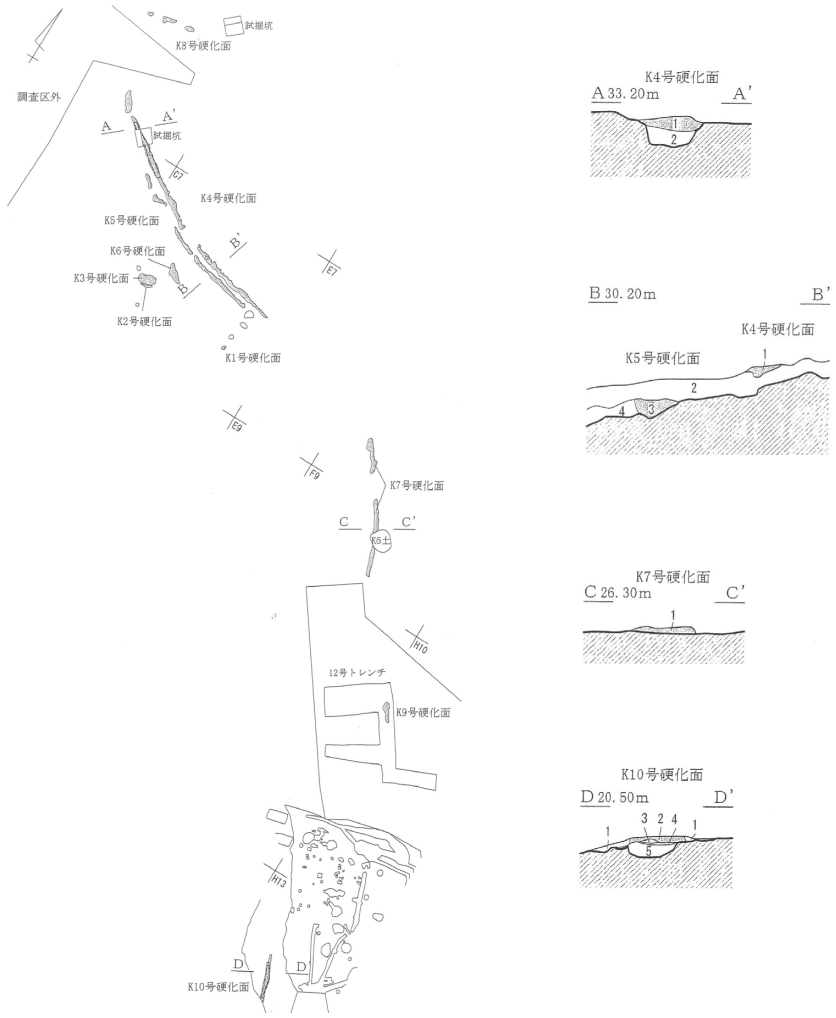
縮　尺	（平面図） 1/150　（断面図） 1/60

資料No.	71	遺跡名	馬場綿内谷遺跡
所在地	横浜市鶴見区馬場		
遺構名	Ｋ１号溝状遺構		
道　幅	18世紀以降に埋まり機能喪失		
年　代	Ｋ１硬化面0.2～0.8m、Ｋ２硬化面0.2～0.8m、Ｋ３硬化面0.8～2.8m		
備　考	ロームを溝状に掘り込む道、溝に直行するように底部を一定の間隔で長楕円形に掘り込んでいる（波板状凹凸面）、3条の硬化面、検出長Ｋ１硬化面50m、Ｋ２硬化面64m、Ｋ３硬化面91m、硬化面３には幅0.3～0.95m・深さ0.14～0.2mの側溝が付随		



縮　尺	（平面図）1/800　（断面図）1/80

資料No.	72	遺跡名	馬場綿内谷遺跡
所在地	横浜市鶴見区馬場		
遺構名	K１～10号硬化面		
道　幅	１号0.5m、２号1.4m、３号2.2m、４号0.3～0.55m、５号0.5m、６号0.2～0.6m、 ７号0.52m、８号0.4～0.8m、９号0.4～0.8m、10号0.4m		
年　代	18世紀以降に埋まり機能損失		
備　考	４号・５号・10号は溝状に掘り込まれた道、検出長は１号0.3m・２号0.2m・３号１m ・４号30m・６号18.6m・７号15.4m・８号15.2m・９号2.2m・10号5m、10号は 調査区外に延びている、硬化面の厚さ４号10～14cm・５号16cm・７号6cm・10号7cm		



縮　尺	（平面図）1/800　（断面図）1/60